

令和5年度

自己点検・評価報告書

令和6年3月実施
学校法人 神村学園

神村学園専修学校

目次

1	学校の教育目標	P3
2	本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画	P3
3	評価項目の達成及び取組状況		
(1)	教育理念、目標	P4
(2)	学校運営	P5
(3)	教育活動	P6
(4)	学修成果	P7
(5)	学生支援	P8
(6)	教育環境	P9
(7)	学生の受け入れ募集	P9
(8)	財務	P10
(9)	法令の遵守	P10
(10)	社会貢献・地域貢献	P11
(11)	国際交流	P12
4	学校評価の具体的な目標や計画	P12

令和5年度 自己点検評価表

神村学園専修学校

1 学校の教育目標

実学による人間性豊かな人柄

神村学園では学力向上と人柄教育を両立させることを教育理念としている。専修学校では「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」をより深く学び、実習においては技術・技能を磨いていなければならない。しかしながら免許や技能はあくまでも仕事上の条件であり、人間としてのモラル、基本的なマナーを根底に置き、専門職としての職務を果たせるようになることが目標である。看護師・理学療法士・作業療法士・保育士の免許が最大の目標ではなく、その資格・免許を通して社会に貢献できる人材育成を教育の目標としている。

(日本語学科)

日本語教育並びに建学の精神である人柄教育を通し、国際社会に貢献できる資質を備えた感性豊かな人材を育成する。

責任

自分の行動や感情に対して責任を持ち、すべてに対して誠実に対応できる人材の育成に努める。

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

「アドミッション・ポリシー(入口)」、「カリキュラム・ポリシー(中身)」、「ディプロマ・ポリシー(出口)」についての基本的方針を策定・実践する

①国家試験全員合格 ②授業の中身の充実 ③オープンキャンパスの充実(募集活動の充実) ④環境美化に努める ⑤就職支援活動 ⑥専任教員養成講習会において看護学教育を深く学ぶ。 ⑦社会性、コミュニケーション、創造力の向上 ⑧留学生の大学進学率を上げる ⑨専門学校・大学合格、日本での就職等、学生個々の目標達成のためのカリキュラムの実施⑩社会性・コミュニケーション力・想像(創造)力を備えた人材の養成

3 評価項目の達成及び取組状況

適切・・・4, ほぼ適切・・・3, やや不満・・・2, 不適切・・・1

(1)教育理念、目標		評価
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	3
2	学校における職業教育の特色は理解しているか	3
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色将来構想などが学生保護者等に周知されているか	3
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

①課題

- ・学生のコミュニケーション能力の低下
- ・学生の職業に関する自覚とそれに向かうための動機付け。
- ・医療人としての知識や技術の向上と、その前に社会常識を学ぶ必要がある
- ・学科としての明確なディプロマポリシーがない
- ・『障害があっても地域社会で暮らすための援助方法をいかに伝えるか』が解決できていない。
- ・自ら学ぶ姿勢をさらに高める必要がある 教育目標の浸透理解
- ・実習に行くまで「精神障害者」のイメージがうまく醸成できない。
- ・刻々と変化する社会のニーズを見極められていないのでは？
- ・学生の社会性、コミュニケーション能力、メタ認知の低下
- ・教育理念が学生に理解されていないところから見直す
- ・日本語能力試験の合格率が低迷している

②今後の改善方策

- ・自己の考えを言語や文章にて表出を行う。
- ・作業療法士やリハビリの仕事(人との関わり、治療技術、学業)の楽しさを伝えるための授業や関わり。(学生と共に活動し適切な関を図る)
- ・アクティブラーニングを積極的に取り入れ、教授した知識を使って思考する機会を多く設ける
- ・ディプロマポリシーの設定が必要
- ・保護者会では、可能であれば分科会後に三者面談等の面談ができればよいかと思います。
- ・教育方針をまずは職員がしっかりと理解し学生に伝えていく
- ・授業の中で、映像としての資料が学生に提供できれば改善につながるのではないかと考えます。
- ・管轄省庁が法務省から文科省に移り、カリキュラムや評価方法等教育に関する点にこれまでよりも重点が置かれるため、それに対応していかなければならない。
- ・少しずつ、その都度指導し、学生自身の自己評価と他者評価のする合わせを行っていく

③特記事項

- ・令和6年度国家試験出題基準(ガイドライン)では、質の担保のためにどのような知識・能力が修得される必要があるがベースとなっている傾向が顕著であるために、ガイドライン 明確なカリキュラムポリシーの構築が今後の国家試験合格率に直結すると考える。
- ・学園内での交流の機会を増やし、直接目で見て感じてもらう

(2) 学校運営		評価
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	3
5	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

①課題

<ul style="list-style-type: none"> ・ICTへのリテラシーが不十分な面があり、今後の改善が必要。 ・承認者不在の場合、決裁の必要な稟議等が遅くなる時がある ・勤務時間に対して働き改革が活きていない。 ・福利厚生充実
--

②今後の改善方策

<ul style="list-style-type: none"> ・電子教科書については使える内容の教科書が増えてきている。解剖学、生理学については電子書籍では、国家試験に対応できる内容の書籍がなかったため、紙の教科書へ変更したい。 ・電子印鑑などの導入検討 ・時間休やフレックスタイムの導入 ・職員全員からの聞き取りを行う
--

③特記事項

特になし

(3)教育活動		評価
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	3
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	3
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3
13	関連分野における先進的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	3
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

①課題

・研修受講後の実践的活動が不足していた ・こども学科の教員は、短大と連携を行なっている為、短大の授業を開講できる業績が必要(更新が必要)だが、それを行える環境があまりない ・専門分野に関する研修等の費用の負担 ・業務量が多く、それが優先すべき事項であるため、教員が自身の能力向上に割く精神的、時間的余裕が無い ・文科省による職業教育(キャリア教育)、医学教育における専門職教育の体制の構築、整備 ・学生の授業参加に真剣さに欠ける ・1年に最低1回は学内研修を実施し、学外研修にも参加したい。

②今後の改善方策

・自己研鑽を怠らず、学生へ還元できるように意識し取り組む ・業績(論文)を更新するための時間や、外部に指導に行く機会を確保させてほしい ・専門性を高めるため、維持するためには研修等の参加は必要であり、モチベーションを高めるために、能力や資格等の手当の充実を考えていく必要がある。 ・業務量の調節 ・ディプロマポリシーに沿った総括的評価による専門的人材育成、それに基づくカリキュラムポリシーによるカリキュラム内容の検討、時期・教科に応じた専門職教育のタキソノミー(教育目標)による到達度の設定・評価、教育目標を達成するためのマスタリーラーニング(完全習得学習)の検討など系統的な教育体制が職業教育・専門職教育においては大前提となる。看護学科では行われていると思うが、他学科でも学内での系統的な教育体制の構築と実践が必要。 ・学生の看護に対する興味関心を引く授業内容と授業方法の改善 ・言葉で「残業は減らしましょう」とだけ言わず、学内全ての労働環境の把握・改善をすべき ・学内研修を年度初めに計画する。

③特記事項

特になし

(4) 学修成果		評価
1	就職率の向上が図られているか	3
2	資格取得率の向上が図られているか	3
3	退学率の低減が図られているか	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

①課題

<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の活動内容をあまり聞くことができない ・不穏な学生のサインを見逃さないこと。 ・卒業後の情報共有はしているが、把握が以前より難しくなっている。 ・就職への明確なイメージ展開

②今後の改善方策

<ul style="list-style-type: none"> ・就職先への電話など、卒業生が職場でどのようにしているか聞き取りを行う。 ・担任、副担任の2人の目で学生の様子を確認しており、その都度情報交換しているが、その体制が不十分な状態にならないように今後も気を付けたい。 ・進学先や就職先と連絡を取る時期を決め、卒業生の動向を把握したい。 ・卒業生と在校生の交流の場を設ける

③特記事項

<p>特になし</p>

(5) 学生支援		評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
2	学生相談に関する体制は整備されているか	3
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
6	学生の生活環境への支援は行われているか	3
7	保護者と適切に連携しているか	3
8	卒業生への支援体制はあるか	3
9	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

①課題

・高等部との連携 ・社会的ニーズを踏まえた教育環境 ・課外活動が臨床実習とするのであれば実習先の確保と実習先のバリエーションが少ないと思われます。精神分野や身体分野がメインですが小児に興味がある子が増えています実習先の確保などが難しい。 ・欧米からの学生が来てもらえるよう奨学金制度をつくる ・Wi-Fi環境の整備が必要。留学生はWi-Fiのみの携帯の契約がほとんどで、学校で税金等のサイトの登録説明をしたいが、できない。

②今後の改善方策

・全職員での連携会議の実施
 ・教育環境の安全面への配慮、建物の設備等など
 ・臨床実習以外で見学やボランティア活動などの紹介や参加しやすい環境づくり等
 ・欧米からの学生が来てもらえるよう奨学金制度をつくる

③特記事項

特になし

(6)教育環境		評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を設備しているか	3
3	防災に対する体制は整備されているか	3

①課題

- ・建物設備が古く、老朽化している部分がある。
- ・津波発生時に備蓄用品が一階にある。
- ・学生のiPad導入は進んでいるが、校舎側のIT整備がそれに比べ不十分。
- ・体育の授業や部活動の練習がある時のアリーナ下の騒音が気になることがある。

②今後の改善方策

- ・施設設備を整える予算を計画立てて計上していく
- ・備蓄用品を4階へ上げる
- ・何が必要なのかを具体的にリスト形式であげて優先順位も考えていきながら稟議していく。
- ・PC機器のグレードup
- ・騒音を緩和できるのであれば対応していただきたい

③特記事項

特になし

(7)学生の受け入れ募集		評価
1	学生募集活動は、適正に行われているか	3
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
3	学納金は妥当なものとなっているか	3

①課題

- ・高校の先生方へご挨拶に行く際に各学科の学生さんの情報を収集し挨拶や説明会など参加するがなかなか時間確保が難しく適切に行えているかが心配。
- ・作業療法士の仕事内容を伝えることが不十分だった
- ・担任をしている先生が外回りなどの募集メンバーに入っているが外と中の両方をやっていくのは大変そうである。残った教務はそのフォローもあり、できれば募集の人数を増やして内部だけに専念欲しい希望はある。
- ・留学生にとってやや高い印象がある

②今後の改善方策

- ・小まめに高校訪問し情報を先生方に伝える。もしくは、松ヶ野先生など高校訪問される先生に情報をお伝えする。
- ・具体的な授業内容だけでなく、職種としての魅力を伝える点を重視する
- ・募集専任の担当が必要ではないか。
- ・成績に応じた免除等ができればありがたい。入学前にN2取得していれば〇〇円免除等。

③特記事項

・特になし

(8) 財務		評価
1	中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか	3
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
3	財務について会計監査が適正に行われているか	3
4	財務情報公開の体制整備はできているか	3

①課題

・情報開示がわかりづらい ・各科に充てられた予算が明確でない ・学級会計業務が煩雑

②今後の改善方策

・年度はじめに、学科の予算はもらえないだろうか
 ・入学者を増やす努力。福利厚生を充実させるための努力が必要
 ・クラス会計の効率化

③特記事項

・財務情報関係についてわかりづらい面がある

(9) 法令等の遵守		評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3
2	個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	3
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
4	自己評価結果を公開しているか	3

①課題

・自己評価点検の公開は行なっているが、何をどのように改善したかのアウトプットがない

②今後の改善方策

・改善したポイントを全職員が観覧できるようにする

③特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献		評価
1	学校教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3

①課題

・転ばん体操や常磐会リハカンファ参加など課外での活動が多くなること。
 ・地域交流

②今後の改善方策

・複数体制での課外活動のシステム作り
 ・ボランティア参加

③特記事項

・ころぼん体操だけでなく、他の参加できる活動があれば積極的に取り組んでいきたい
 ・学生、教員の国体などのボランティア派遣を実施。いちき串木野市の転倒予防教室へ講師として教員が定期的に参加している。

(11) 国際交流		評価
1	留学生の受入・派遣について戦略を持って行っているか	3
2	留学生の受入・派遣、在籍管理等において適正な手続き等が取られているか	3
3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3
4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3

①課題

・特になし

②今後の改善方策

・進学先や合格率を公開したり、SNS等を通して宣伝効果を高める

③特記事項

いちき串木野市や日置市、鹿児島市のイベントやボランティアに多く参加し、外部とのつながりを広げることができた一年となった。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・各学科間の連携や学園間の連携の充実を図り(今年度の全体での草刈りなど)、学園の円滑な情報交換やチーム連携を今後もできたらと思う。
- ・企業努力が全ての面で必要でないかと考える。
- ・目標に沿って、自己研鑽に努め、学生へ反映させていく必要がある。
- ・専修学校看護学科の定数減に対して看護学科全体的に学校の魅力発信が必要ではないか。
- ・進級に際してはしっかりと判断で可否を検討していきたい。
- ・専門の先生が授業、学生対応に集中できる環境を構築していきたい。
- ・意識が高い学生の学習意欲を削ぐことがないよう学園のレベルをもっと上げていきたい。
- ・国家試験全員合格に向けて職員全員で個別指導を行っていて、取り組みとして良かった。